

関係各位

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
代表理事会長 長沢 光章



2027年度以降の精度管理調査受検料の改定について

謹啓 平素より当会事業に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当会では、臨床検査の精度および品質の向上を通じて国民の健康維持・増進に寄与することを目的として、長年にわたり本事業を実施してまいりました。

しかしながら、近年、事業運営に係る費用（試料費、輸送費、システム関連費用、人件費等）が著しく上昇しており、当会におきましても様々な経費削減や業務効率化に努めてまいりましたが、現行の受検料では本事業を安定的かつ継続的に実施することが困難な状況となっております。

このような状況を踏まえ、当会では、本事業を公益目的事業として今後も安定的かつ継続的に実施していくため、必要となる経費を適切に受検料へ反映し、2027年度より受検料を改定させていただくことといたしました。関係各位にはご負担をおかけすることとなり誠に恐縮ではございますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。今後も、より充実した精度管理調査の実施に努め、臨床検査の質の向上に寄与してまいります。

なお、改定後の受検料につきましては、下記のとおりご案内申し上げます。

謹白

記

1. 改定時期 2027年度精度管理調査より
2. 改定後の受検料 別紙「2027年度以降 日臨技臨床検査精度管理調査受検料一覧」のとおり
3. 改定の理由 今回の改定は、主として以下の状況を踏まえたものです。
 - ・試料等の調達に係る費用の上昇（国際的な原材料価格の高騰に伴うもの）
 - ・輸送費等の上昇（国際的な原油価格の上昇に伴うもの）
 - ・システム関連費用等の増加（システムの利便性向上安定確保に向けた改修等に伴うもの）
 - ・精度管理調査の実施および報告に必要となる各種経費の増加（人件費等の上昇に伴うもの）

本事業は公益目的事業として実施しており、本事業によって利益を追求することを目的とするものではありません。今回の受検料改定は、あくまでも本事業を将来にわたり安定的かつ継続的に実施するため、収支の均衡を図ることを目的としております。

以上

（問合せ先）一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
精度管理調査 担当

Mail : jamt-survey@jamt.or.jp

2027年度以降 日臨技臨床検査精度管理調査受検料一覧

受検番号	受検項目	受検料(税抜)	受検料(税込)
1	基本項目（①臨床化学、②免疫血清、③血液、④一般）	31,819円	35,000円
2	微生物 A（グラム染色、フォトサーベイなど）	4,546円	5,000円
3	微生物 B（グラム染色、細菌同定2種、細菌薬剤感受性2種、フォトサーベイなど）	18,182円	20,000円
4	輸血 A（ABO血液型、RhD血液型）	18,182円	20,000円
5	輸血 B（ABO血液型、RhD血液型、不規則抗体スクリーニング、不規則抗体同定、試験管法による凝集反応、フォトサーベイ）	18,182円	20,000円
6	遺伝子 A（結核菌群定性）	13,637円	15,000円
7	遺伝子 B（HCV定量、HBV定量）	18,182円	20,000円
8	生 理	4,546円	5,000円
9	細 胞	4,546円	5,000円
10	病 理	4,546円	5,000円
11	1 + 3 + 5 + 8 + 9 + 10 セット価格	81,819円	90,000円
12	1 1 + 6 セット価格	95,455円	105,000円
13	1 1 + 6 + 7 セット価格	113,637円	125,000円
S 1	免疫血清（甲状腺項目：TSH、FT4）	18,182円	20,000円
S 2	遺伝子（SARS-CoV-2遺伝子核酸増幅）	14,546円	16,000円
S 3	POCT（インフルエンザ A 型抗原、B 型抗原、アデノウイルス抗原、RS ウィルス抗原、肺炎マイコプラズマ抗原、A 群溶血性連鎖球菌抗原、SARS-CoV-2 抗原）	13,637円	15,000円

【受検料の表示および消費税の計算方法について】

1. 複数の受検項目を申し込まれた場合の請求金額は、各受検項目の税抜受検料を合計した金額に消費税を加算して算出いたします（小数点以下切り捨て）。

※加算例 1 基本項目＋微生物Aで申し込み 31,819円＋4,546円＝36,365円

36,365円×1.1＝40,001.5円 → 40,001円支払い（端数が出ます）

尚、請求書・見積書には、適正な金額が表示されています。